

# 松本電工株式会社

## 2017年度環境活動レポート (対象期間:2017年3月1日~2018年2月28日)



発行日:2018年3月20日

## □ ごあいさつ

松本電工株式会社は、今世界的な問題になっている地球環境保全が重要な課題と認識し後世に住みやすい地球環境を残すため、私達が汚さない・自然を破壊しないことに心がけ啓発活動にも努力します。

松本電工株式会社  
代表取締役 松本 一宏

## 環境方針

### 〈環境理念〉

松本電工株式会社は、電気工事・太陽光発電販売事業及びアフターサービス・業務活動に係る全ての事業活動と、これらの製品の環境影響を低減するために、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

### 〈環境活動の行動指針〉

- 1、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
  - ・電力使用量の削減
  - ・燃料(ガソリン)使用量の削減
- 2、廃棄物排出量の削減に取り組みます。
  - ・産業廃棄物排出量の削減
  - ・一般廃棄物排出量の削減
- 3、総排水量の削減に取り組みます。
  - ・水道水の削減
- 4、グリーン購入の推進に取り組みます。
  - ・事務用品のグリーン購入の推進
- 5、省エネ提案の推進に取り組みます。
  - ・設計時に省エネ商品等を積極的に提案実施
- 6、地域での環境活動に積極的に取り組みます。
  - ・会社周辺の清掃
  - ・河川・公園の清掃
- 7、環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
- 8、環境方針を全従業員に周知します。
- 9、環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

改定日：2014年3月1日  
代表取締役社長  
松本 一宏

## ■ 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

松本電工株式会社  
代表取締役社長 松本 一宏

(2) 所在地

本社 兵庫県神戸市長田区高東町3丁目4番13号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

施工管理部長 成末 公哉 連絡先 TEL:078-641-7011  
FAX:078-641-7015

(4) 事業内容

電気設備工事業  
特定建設業 種類 : 電気工事業  
許可番号: 特-27 第104386

(5) 事業の規模

資本金 3,000万円  
設立年月日 昭和30年4月  
売上高 540百万円  
工事件数 646件

	本社
従業員	15名
敷地面積	300.53㎡

(6) 事業年度

3月1日～2月28日

## ■ 認証登録の対象組織・活動

- ・全組織・全活動が対象
- ・組織名 松本電工株式会社
- ・活動内容 電気設備工事業

## ■ 主な環境負荷の実績

項目		基準年度	2015年度	2016年度	2017年度
二酸化炭素総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	電力使用量	14,419	6,967	6,986	7,356
	ガソリン使用量	11	29,077	29,165	25,176
	計	14,430	36,044	36,151	32,532
廃棄物排出量 (kg)	一般廃棄物	360	234	263	241
	産業廃棄物	5,215	3,853	15,632	23,406
	計	17,393	4,087	15,895	23,647
総排水量(㎡)	事業所	146	101	54	79

※購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数については、環境省発表の2013年度 関西電力のCO<sub>2</sub>係数0.522-CO<sub>2</sub>/kWh(実排出係数)を採用。

※ガソリン:0.0671kg-CO<sub>2</sub>/MJ

□ 環境目標・実績

全社

項目		年度	基準値	2017年度 上段:通年		2018年度	2019年度
			(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力使用量の二酸化炭素排出量削減 CO2換算係数:0.522	kg-CO2		7,527	7,376	7,356	7,226	7,151
	基準年度比	(2014年度)		98%	98%	96%	95%
ガソリン燃費の向上	km/L		11.0	11.2	11.8	11.3	11.4
	基準年比	(2015年度)		102%	107%	103%	104%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		7,527	7,376	7,356	7,226	7,151
一般廃棄物の削減	kg		360	346	241	342	338
	基準年度比	(2012年度)		96%	67%	95%	94%
産業廃棄物の削減 (リサイクル率)	%		0				
	基準年度比	(2012年度)		40%	45%	45%	50%
節水	m <sup>3</sup>		146	140	79	139	137
	基準年度比	(2012年度)		96%	54%	95%	94%
グリーン購入	%		83 (2012年度)	40%	81%	45%	50%
省エネ提案	件		23 (2012年度)	28	28	29	30

## 事務所

年度 項目		基準値	2017年度 上段: 通年		2018年度	2019年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力使用量の二酸化炭素排出量削減 CO2換算係数: 0.522	kg-CO2	7,527	7,376	7,356	7,226	7,151
	基準年比	(2014年度)	98%	98%	96%	95%
ガソリン燃費の向上	km/L	11.1	11.4	12.9	11.5	11.6
	基準年比	(2015年度)	102%	116%	103%	104%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	7,527	7,376	7,356	7,226	7,151
一般廃棄物の削減	kg	360	346	241	342	338
	基準年比	(2012年度)	96%	67%	95%	94%
節水	m <sup>3</sup>	146	140	79	139	137
	基準年比	(2012年度)	96%	54%	95%	94%
グリーン購入	%	81 (2012年度)	40%	81%	45%	50%
省エネ提案	件	23 (2012年度)	28	28	29	30

## 現場

年度 項目		基準値	2017年度 上段: 通年		2018年度	2019年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
ガソリン燃費の向上	km/L	11.0	11.2	11.7	11.3	11.4
	基準年比	(2015年度)	102%	106%	103%	104%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	-	-	-	-	-
産業廃棄物の削減 (リサイクル率)	%					
	基準年比	(2012年度)	40%	45%	45%	50%

□ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

達成状況の判定：○良くできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み項目	達成状況	継続／変更	評価と次年度の取り組み内容
<b>電力使用量の二酸化炭素排出量の削減</b>			
目標値：98%	削減率：98%		<目標達成>
こまめな消灯	○	昨年度から継続	昨年度から電気ポットを瞬間式に変えるなどで電力量削減に成功しました。 <次年度の取り組み> 更に仕事の効率を高めることによる残業の削減などで目標達成に努めます。
服装を工夫する	○	昨年度から継続	
連暖房ONの時は切タイマーをセットする	○	今年度から新規	
電源ポット類は17時半になったら電源を切る	○	今年度から新規	
<b>ガソリン燃費の向上</b>			
目標値：	向上率：107%		<目標達成 >
駐車中はエンジンを切る	○	昨年度から継続	今年度から達成目標がガソリン使用量の二酸化炭素削減からガソリン燃費の向上に変わりましたが、目標することができました。 <次年度の取り組み> 夏場の燃費が悪いので、冷房のかけ過ぎは控えましょう。
急発進、急ブレーキはしない	○	昨年度から継続	
必要無いものは車に載せない	○	昨年度から継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
目標値：96%	削減率：67%		<目標達成 >
汚い紙類以外は分別する	○	昨年度から継続	ペットボトルをスーパーの回収BOX等で処理する事でさらに廃棄量を減らす事ができました。 <次年度の取り組み> 各人のゴミ箱に捨てている紙類をさらにリサイクルに回せるように周知徹底させていきます。 アルミ缶・スチール缶・ペットボトルのリサイクル化は継続していきます。
スチール缶・アルミ缶・ペットボトルを分別する	○	昨年度から継続	
社外で発生したゴミは持ち帰らない	○	今年度から新規	
<b>節水</b>			
目標値：96%	削減率：54%		<目標達成 >
・節水の呼びかけを行う	○	昨年度から継続	節水を呼びかけ、水使用量を削減でき、目標達成しました。 <次年度の取り組み> 1人ひとりが節水をこころがけます。
<b>グリーン購入</b>			
目標購入率：40%	購入率：81%		<目標達成 >
環境関連商品の把握と発注管理	○	昨年度から継続	環境関連商品を周知することにより、グリーン購入比率を達成することが出来ました。 <次年度の取り組み> 引継ぎ声掛けを行い周知すると共に、新しい環境関連商品のチェックを細かく行いたいと思います。
環境関連商品のものを声掛けを行い周知する	○	今年度から新規	
<b>省エネ提案の推進</b>			
目標提案件数：28件	提案実績：28件		<目標達成 >
新製品の情報確認	○	昨年度から継続	上手にLED照明を取り入れ、提案することができました。 <次年度の取り組み> 引き続き、LED照明も製品向上していくと思われますので、製品情報を確認し、最適なものを選定、提案していきたいと思います。
制御系の設計を増やす	○	今年度から新規	
<b>産業廃棄物の削減(リサイクル率)</b>			
目標リサイクル率：40%	リサイクル率：45%		<目標達成 >
銅・鉄・アルミ・ステンレス・段ボールの分別	○	昨年度から継続	改修工事が多く産業廃棄物の量は多かったです。銅・鉄・アルミ・ステンレス・段ボールの分別を徹底しリサイクル率の目標を達成することができました。 <次年度の取り組み> 倉庫内の整理が一年を通してできていなかったため、継続して整理できるように周知徹底致します。
正確な数量にて資材発注	○	昨年度から継続	
仮設資材の整備	○	今年度から新規	

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ランプ)	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機廃棄時適正処理、適正管理	遵守
自動車リサイクル法	営業車2台、作業車8台	遵守(廃棄なし)
自動車NO <sub>x</sub> ・PM法	営業車2台、作業車8台	遵守
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、家庭用空調	遵守(廃棄なし)
資源有効利用促進法	パソコン	遵守(廃棄なし)

\* 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
 なお、訴訟及び関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□ 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度も目標達成する事が出来ました。これは社員全員の環境に対する意識が高まっている結果だと思えます。我々が活発に仕事をすればするほど環境に対する影響が大きくなる半面、毎年年数を重ねるに従い目標数値が上がっていく為、達成する事が難しくなってきます。これまで同様ではなく、様々なイノベーションを行い、事業の発展と環境負荷の低減を目指しましょう。

□ 環境活動の紹介

- ・事務所の照明器具をLED化に変更し省エネルギーを図った。
- ・設計時に省エネ商品等を積極的に提案した。
- ・近隣清掃及び、地域自治会への参加を実施した。(公園、河川清掃)

事務所照明のLED化



清掃活動



工事現場廃棄物保管所



現場事務所掲示板

